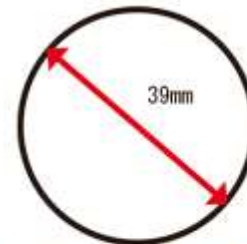




9月9日は救急の日です

家の中の事故を防ぎましょう



0~6歳の**子どもの事故の約40%**は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの1.2歳児でもゼロではありません。

家の中を安心・安全な場所にするために、もう一度チェックしてみましよう(^.^)/

小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

職員研修がありました☆

「口腔発育・発達段階に合わせた正しい“食べ方”」
千葉歯科医院 院長 浜野美幸氏

「**口腔機能発達不全症**」という言葉をご存じですか？

- ・離乳食がすすまない
- ・食べ物の噛み方がおかしい
- ・時間がかかる
- ・飲み込みがおかしい、飲み込めない
- ・丸のみしてしまう
- ・食べこぼしが多い
- ・発音がおかしい
- ・いつも口をあけて息をしている
- ・ゆびしゃぶりをやめられない
- ・その他口の癖がある

子どものうちに、正しい食べ方・姿勢・嚥下を身につけることで口腔機能を育て、健康長寿につながります。歯並びも影響することがあるそうです。

詳しく聞いてみたい方は、職員へお声がけください(*^*)

